

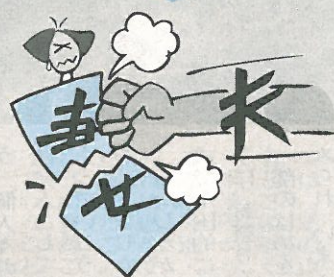
「DV」アンケートの結果がまとまりました。

での女性への人権侵害

女性に対する暴力をめぐって～

お問い合わせ：なは女性センター ☎861-7520

ドメスティック・バイオレンスとは



DVは、女性差別の意識と暴力を容認しがちな風潮が生み出した、女性への人権侵害なのです。

夫や恋人、元夫や元恋人、同居するパートナー、婚約者など、親密な関係にある男性から女性に振るわれる暴力(虐待)のことをいいます。英語Domestic violence、略してDVともいいます。直訳すると「家庭内暴力」となります。この暴力(虐待)は身体的暴力、経済的暴力、精神的暴力(言葉による暴力など)や社会的暴力(社会的な断絶など)も含まれます。暴力(虐待)の程度が、たとえ深刻なもの(警察に通報する、診療・通院するなど)でもなくとも、また婚姻関係にあっては、暴力(虐待)は犯罪であるということを確認する必要があります。

サバイバーとは

英語Survivorという言葉で、従来の被害者(Victim)と表現せず、つらい被害体験から生還した人への敬意と称賛の意味を含め、「性別」や「子どもである」と「成人である」とを問わず、暴力(虐待)から生き延びた人をいいます。

あらゆる暴力から生き延びてきた人々を適切に表現する「サバイバー」という言葉が生まれてきた。この言葉が生まれるようになったのは最近のことです。

女性の人権に関するアンケート調査

調査目的

本市では、市民一人ひとりが生き生きと豊かさを実感できる男女共同参画社会の実現をめざしています。家庭の中の男女関係をみると、女性に対する暴力は個人個人で解決すべきことだと家庭に封じ込められ、表面ににくい隠された問題でした。本調査は、これらの女性に対する暴力の実態及び女性に対する暴力などについての男女の意識を把握し、そのデータを分析することで、今後の対策を探ることを目的としています。

アンケート調査の実施状況

1 調査対象

住民基本台帳に登録されている20歳以上65歳未満の那覇市民184,830人(うち女性93,705人・男性91,125人)のうち、女性1,000人(母集団の1.1%)・男性500人(母集団の0.5%)の計1,500人を無作為抽出を行いました。なお、今回のアンケートは市民のDV体験の実態把握を目的の一つとして、女性のサンプルを多く抽出しました。

2 調査期間・方法

アンケート配布：2000年8月28日～9月10日、アンケート回収：2000年8月31日～10月5日(郵送による集計締切期日)協力依頼及び配布については調査員による訪問とし、回収については調査対象者自身による郵送としました。(秘密厳守)

3 回収状況

回収数652サンプル、有効回収634サンプルで有効回収率42.3%となっています。男女別では、女性が484サンプル、有効回収率48.4%。男性が150サンプルで有効回収率30.0%となっています。

男女別の年代別回収率は表2のとおりです。回収率は、表が示すとおり女性では40代・50代が多く、男性では60代で最も回収率が高くなっています。

表1 回収状況

	女性	男性	総数
サンプル数	1,000	500	1,500
有効回収数	484	150	634
無効回収数	516	350	866
回収率	48.4%	30.0%	42.3%
拒否	50	30	80
	5.0%	6.0%	5.3%

表2 性別・年代別回収率

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
女性	242	230	236	196	96	1,000
有効回収数	92	117	125	104	46	484
有効回収率	38.0%	50.9%	53.0%	53.1%	47.9%	48.4%
男性	124	117	121	95	43	500
有効回収数	28	33	41	29	19	150
有効回収率	22.6%	28.2%	33.9%	30.5%	44.2%	30.0%

調査結果の概要

1 DV被害の状況について

●20人にひとりの女性が夫・恋人などのパートナーによる「医師の治療が必要となるほどの暴力」の被害にあつたことがある。さらに、そのうちの2割が何度も被害にあつている。

●パートナーからの社会的暴力の被害にあつたことのある女性は3人にひとりである。同様に性的暴力では4人にひとり、経済的暴力では5人にひとり被害にあつたことがある。

2 DVの要因とその影響について

●DVは「男性役割」と関連している。

3 DVの防止と対策について

●DVへの認識はまだ市民に充分浸透していない。

●身体的暴力などの経験者の多くが問題解決の手助けが得られていない。

●行政に対しては、相談機関のPRと相談後の支援体制が求められている。

パワーとコントロールの車輪



〔出所〕「ドメスティック・バイオレンス」(「夫(恋人)からの暴力」調査研究会、1998年、有斐閣)ミネソタ州ドゥルース市のドメスティック・バイオレンス介入プロジェクト作成のものを基に加筆修正されたもの